

北海道情報大学広報誌 となかまど

2018 (H30) 年 7 月 20 日発行

VOL
70

Johodai

北海道情報大学広報誌 ほながまど

2018 (H30) 年 7 月 20 日

CONTENTS — もくじ

VOL. 70

01	表紙
02	目次 北海道情報大学紀要 29-2
03	建学の理念・使命・教育目的
04-05	座談会「学長に何でも聞いてちょう」Vol.7
06-07	平成29年度 学位記授与式 卒業祝賀会
08	平成30年度 入学式
09-10	新入生 宿泊研修 報告
11	グラフィックページ
12-15	CAMPUSだより
16-18	新任教員の紹介コーナー 情報メディア学科 河原 大 講師 情報メディア学科 杉澤愛美 講師 医療情報学科 海老名春代 特任講師
19	デジタルプラクティスに関する国際会議 報告
20-21	ゼミ紹介 先端経営学科 向原強ゼミ システム情報学科 柳信一ゼミ 医療情報学科 奥村昌子ゼミ 情報メディア学科 川上正博・杉澤愛美ゼミ
22-23	体育祭報告
24	日本情報経営学会 第76回全国大会
25	サークル紹介 バスケットボール部
26	地域連携・産学連携センター 公開セミナー「ミステリー×映画」
27-29	学校法人 電子開発学園 平成29年度決算の概要
30	大学主要行事など(H30年2月1日～6月30日)
31	平成30年度 HIU カレンダー
32	編集隊 編集後記

北海道情報大学 紀要 29-2

北海道情報大学紀要 (Memoirs of Hokkaido Information University) は、北海道情報大学が年 2 回定期的に刊行する学術誌です。これは、本学における教育研究活動の成果を学内外に広く公表することを目的としており、論文の他、解説、研究ノート、制作ノート、資料、報告などを掲載しています。本学のホームページにて公開しておりますので、内容をご覧になりたい場合は、右記の URL または QR コードをご利用ください。

《 論 文 》

- GIS を活用した北海道石狩地方における道路距離と直線距離の関係に関する地理的分析
向原 強 藤本 直樹
- 学習指導要領改訂の批判的検討
—大学生の数学力と意識調査の分析を通して—
樫 達
- アクティブ・ラーニングに関する教育心理学的効果研究
～内発的動機づけと外発的動機づけの観点から～
五浦 哲也

- 続・アメリカ英語とイギリス英語の慣用語の相互浸透について
—オンライン・コーパスを活用して—
伊藤 一正

《 研究ノート 》

- Can a short-term exchange program reduce foreign language anxiety?
Joel P. RIAN

《 報 告 》

- 次世代学習環境の研究
学習とリアルビジネスの融合
明神 知 酒井 雅裕 隼田 尚彦
安田 光孝 谷川 健



http://www.do-johodai.ac.jp/kiyou/kiyou_29_2.html

建学の理念・使命・教育目的



建学の理念

「情報化社会の新しい大学と学問の創造」

北海道情報大学は、平成元年に我が国の情報化社会の黎明期に情報教育の新しい扉を拓いた、学園創立者松尾三郎博士によって、「情報化社会の新しい大学と学問の創造」を建学の理念として開学した大学です。

本学の使命・目標

IT社会の到来を告げる国際情報化の幕開けに先駆け、「情報」を大学名に取り入れて開学した北海道情報大学は、「産学協同の精神の下、豊かな国際性、創造力ある人間性を涵養し、実学に裏付けられた実践的な専門教育を通して、我が国の国際情報通信社会の進展に貢献する高度情報通信技術者を育成すること」を使命としています。

本学は、北海道開拓のシンボル・野幌原生の豊かな自然につつまれたキャンパスを研究・教育の創造的なふれあいの場として、あるいは先端的な通信教育により全国に展開されている学びの場において、「情報」を核にその応用範囲を広げていく「情報の総合大学」としてIT社会の発展に寄与するために、以下のような機能を果たすことを目標としています。

- ・情報を核とする高度な専門職業人養成機能
- ・国際性と豊かな人間性を育む教養教育機能
- ・情報に関わる通信教育の拠点機能
- ・地域貢献・産学連携機能

教育目的

21世紀において、われわれを取り巻くすべての社会構造は今やIT抜きでは成り立ちません。このような状況に鑑み、本学の教育では、明日の高度情報通信社会の担い手にふさわしい情報技術と知識、およびそれを支える幅広い教養と各種専門分野にまたがる知識の習得に裏打ちされた高度IT技術者を育成することを目標に掲げています。また、国際情報化に適応できる国際性豊かな人材、情報に付加価値を生み出す幅広い教養、感受性、モラル、コミュニケーション能力を備えた人間力に優れた人材を育成することを目指しています。

- ・生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力を育成する自己啓発教育
- ・IT社会に役立つ高度な情報技術と専門知識を身につける実践教育
- ・国際感覚やモラルなど豊かな人間性を養う人格教育
- ・コミュニケーションとプレゼンテーション能力を涵養する自己表現啓発教育
- ・自ら問題を見つけ出し、その解決のために自身で工夫できる問題発見・解決能力育成教育
- ・知識のみではなく生きるための知恵を啓発する全人教育

学長に何でも聞いちゃおう！ Vol.7

【30周年についてのお話】

学長「今年で情報大学は30周年になるわけなんだけど、平成元年に情報大学ができてから、これまでに卒業したみんなの先輩って、だいたい何人ぐらいになると思う？」

西川「1回に400人くらい卒業したとして、25年だから…」

(各自思考、回答)

学長「だいたい7000人くらいなんだよね。最初に情報大学ができたときは、学科が2つしかなかったからね。学部も学生の数も少しずつ増えていったんだ。」

全員「そうだったんですね！」

学長「30年前っていったらみんなまだ生まれてないから想像つかないし、わからないよね。わたしは今から、30年前って言うとSONYに勤めていたんだよね。当時は産業用ロボットの開発してたなあ。元気だったなあ、あの頃は(笑)」

全員「笑」

学長「あの頃は仕事したくて残業も楽しんでたね。仕事が楽しかったから、好きで残業してた感じだな。それからしばらくして、バブルが弾けたんだ。」

全員「あー…」

学長「一口に30年っていても、やっぱり長いよね…。昔から三十にして立つ、四十にして惑わず。っていうから、そういう意味では、情報大学もやっと独り立ちできるようになったのかな？ どうか？ (笑)」

全員「笑」

学長「何か質問があれば受けるよ」

西川「はい。30周年という節目の年を迎えたわけなんですけど、これから情報大学はどんな風に進化していく(させていく)のでしょうか」

学長「いきなり真面目な質問だねえ(笑)」

全員「笑」

学長「みんな知ってると思うんだけど、いまは少子高齢化で18歳人口がすごく減ってるよね。だから今は、どこの大学も生き残るためにいろんなことをしているんだ」

全員「なるほど！」

学長「いま有力なのが、いくつかの大学が連携して、各大学の強みを生かしていこうっていう計画なんだよね。」

西川「そうなんですな」



学長「でも、連携するにあたって、個々の大学が何かしら強みを持っていないといけないと思う。」

うちの大学は、やっぱり情報に関しては北海道で一番だ。情報っていう強みをさらに発展させて、北海道の中で攻めていく姿勢でいたいな。」

【夢について】

片石「澤井学長ご自身が昔、学生時代や会社に勤めていらっしやった時に持っていた夢が聞きたいです！」

学長「そうだね、やっぱり新しいものを作りたいなっていう想いは強かったかな。例えば新しい商品とか、新しいロボットとか。そういうものを作りたいなっていうも思っていたよ。」

片石「なるほど」

学長「私が会社に入って最初にやったのはラジオの設計だったんだけど、隣の課がテープレコーダー設計の課で、その課が開発したのが、みんなも知っているウォークマンだったんだよね。なかなか新しくいい物作ったなあって、ちょっと羨ましかったよ(笑)」

全員「笑」

学長「設計者って忙しい時とそうでな



第7回目の「学長に何でも聞いちゃおう!」のコーナー。授業後に各学部の学生5人が集まり、学長と座談会を行いました。開学30周年のことや普段お聞きできない澤井学長の公私両面でのお話に花が咲きました。

い時があつて。そこで何をしていたか
ていうと、会社の余った部品を使って
色々なものを作ってたんだよね。でき
たら、偉い人に持って行って、見せたり
とかしてね。私のいた会社ってすごく
自由な雰囲気だったなあ。」

全員「そうなんだ!」

学長「ウォークマンはものすごい開発
だったと思うよ。テープレコーダーに
あつて当たり前だった録音機能をなく
したり、思い切ったことをしてたから
ね。」

全員「へえー!」

学長「やっぱり何に関してもこういう
新しい発想が大事なんだよね。既存の
常識を捨てて、新しいものを作ったり
考えたりってことが好きだから、そう
いうことをしたいっていうのが、夢
だったな。」

【健康について】

中川「健康について何か気をつけてい
ることがあれば教えてください」

学長「昔から健康にはとても気を使っ
ているよ。まず、3食しっかり食べる
こと。それから野菜を多く摂ること。」

中川「なるほど!」

学長「情報大学の学食で食べるときは
400円の定食頼んで、それと80円の
野菜の小鉢、あれを必ず食べてるよ
(笑)」

全員「笑」

学長「あとはね、運動すること。やっ
ぱり体を動かしていないと、体が弱く
なっちゃうからね。だから、きちんと
食べることと体を動かすこと。この2
つは昔からすごく注意しているよ。」

全員「なるほど」

学長「ただ、ちょっと健康によくない
ことを、一つしてしまっているんだよ
ね。」

全員「?」

学長「私はお酒が大好きでね…(笑)」

全員「笑」

学長「ついつい飲み過ぎちゃうんだよ
ねえ(笑)。でも、ご飯をしっかり食
べて体を動かしていれば、大丈夫だと
思ってるよ。健康に関してはそんなと
ころかな。」

【娘さんのことについて】

渡邊「娘さんがドイツにいらっしゃる
とお聞きしたのですが、どのようなこ
とをされているのですか?」

学長「ドイツのハンブルクでオペラの
公演をしたり、日曜日に教会で歌を
歌ったり、あとは幼児の音楽教室なん
かも手がけているよ。もともと音楽と
か、歌を歌うのが好きでね、高校の時
から声楽科でソプラノをやっていたん
だよな。」

全員「すごいですね…!」

学長「それで大学を卒業してからは、
しばらく日本にいたんだけど、そのあ
とドイツの音楽院に行ったんだ。」

全員「へえー!」

学長「今はそこの卒業して、歌うこと
を仕事にしながら、なんだかんだ楽し
くやってるみたい(笑)」

全員「笑」

渡邊「澤井学長も音楽がお好きなん
ですか?」

学長「好きだよ。」

渡邊「そこにあるキーボードがお部屋



に入った時から気になっていて…」

中川「確かに、ありますね!」

学長「ああ、あれかい?小中学校の頃
にちょっとピアノを習っていたことが
あつてね。」

全員「すごい!」

学長「そんなたいしたことないだけ
ど(笑)。でも中学校の時に学芸会で
クラスの合唱の伴奏やったりしたよ。」

渡邊「そうなんですか、すごい!」

学長「あと、歌を歌うのも好きでね。
お酒飲みに行ったら二次会は必ずカラ
オケだよ(笑)」

全員「爆笑」

【お話が終わって】

学長先生とお話するという貴重な機
会でした!緊張しましたが、ためにな
るお話がたくさん聞けて良かったです。

- 今回参加した学生
- 経営情報学部3年 片石 聖
 - 経営情報学部2年 渡邊 夕祐
 - 医療情報学部3年 中川 咲季
 - 情報メディア学部3年 遠藤めぐみ
 - 情報メディア学部3年 西川 朋弥

(撮影 杉澤愛美)

✿ 平成 29 年度学位記授与式



学位記を手にした卒業生・修了生総数 613 名は、大学との別れを惜しんでいました。

平成 30 年 3 月 16 日 (金) 10 時から本学松尾記念館講堂において、平成 29 年度北海道情報大学学位記授与式を挙行了しました。

経営情報学部は第 26 回、医療情報学部は第 2 回、情報メディア学部は第 14 回、通信教育部は第 21 回、大学院は第 21 回となる合同で行われた学位記授与式の模様は、会場に設置されたテレビカメラにより、保護者室の 211 教室や全国の各教育センターにも同時中継されました。

式は、厳粛なうちにも和やかな雰囲気の中行われ、特に賞状授与では、参加者全員が拍手をするなど、祝福ムードに包まれていました。

式終了後には、卒業アルバムに掲載する卒業記念写真の撮影を行い、その後、学科等別の学位記授与、体育館での卒業祝賀会と続きました。



式次第

- 一 修礼
- 一 開式の辞
- 一 学位記授与
- 一 学長告辞
- 一 理事長祝辞
- 一 祝辞・祝電披露
- 一 賞状授与
- 一 卒業生・修了生答辞
- 一 閉式の辞
- 一 修礼

卒業祝賀会



澤井学長



西平副学長



木下同窓会事務局長

平成30年3月16日（金）。

平成29年度学位記授与式の後13時30分から、本学体育館において、平成29年度北海道情報大学卒業生、修了生祝賀会が行われました。

会のはじめに澤井学長から挨拶をいただき、続いて同窓会の木下事務局長から今後の同窓生としての行事などへの参加要請などがあり、西平副学長の音頭で乾杯しました。

祝賀会には、卒業生と教職員の他、卒業生の保護者のみなさん、先輩を見送る3年生も数多く参加。それぞれにテーブルを囲み、最初は静かなスタートでしたが、時間と共に盛り上がってきました。

会場には、飲み物、食べ物が並び、麺類や各種の料理をその場で作る屋台もあり、おいしい料理をいただきながらの歓談となりました。

ゼミごとに思い出話に花を咲かせたり、友達と別れを惜しんだり、お世話になった先生と盛り上がったりしていました。

卒業生は華やかな振り袖に袴姿やすてきなスーツ姿が多く、みんなで最後の集合写真を撮っていました。

卒業生、修了生のみなさん！これからも北海道情報大学のことを忘れずに、いつでも大学に遊びに来てくださいね！（編集部）



保護者の方も参加して記念写真

司会の鳴海葵君（安田ゼミ3年生当時）



4月10日(火) 13:30 大学発

定山溪温泉・万世閣ホテルミリオネ

宿泊研修の目的は――

●クラスの仲間との交流。友達作り。できれば他のクラスとも全体集会で交流して、友達作り。

●これから始まる大学での学習や行動について、担任の先生がクラスミーティングでしっかり説明し、全員で確認し、各自が自分の判断で行動できるようになること。



講堂での簡単な説明の後、バスに乗り込むと、担任からスケジュールや注意事項の説明がありました。

ホテルに着くと、一旦4・5人ごとの部屋に入り、荷物などの整理をしてから、クラスごとのミーティングの部屋に集まりました。

クラスミーティングでは、担任それぞれが考えたアイスブレイクゲームや勉強会などが行われました。

ミーティング終了後、交代で食事と

入浴をすませ、その後行われる全体会の大広間に19:45までに集合しました。

全体会では、ホテルから緊急時の説明、学長のお話、クラス担任の紹介がありました。先生達は自己紹介で楽しく自己アピール。その後、保健センターの先生から健康に大学生活を送るためのアドバイスなどがあり、最後に学生実行委員会からの活動紹介があり、全体会は終了しました。

この後、同じ会場で、先輩との「よろず相談」「森川ゼミ発案のゲーム」が行われ、大変盛り上がりしました。この後、各部屋での自由時間になり、23:00就寝になりました。

2日目は、7:30から各自朝食をとり9:00からのクラスミーティングまで自由時間。荷物をまとめてミーティングの部屋に集まり、連絡事項の確認や数種のアンケートに記入して出発の時間まで一緒に過ごしました。10:00から帰りのバスに乗り込み宿泊研修は終了しました。



全体集会での学長のお話



学生実行委員会の「よろず相談会」



ゲームをしたり、お茶を飲みながらの時間

A1 クラス担任 椿 達



A2 クラス担任 関根 洋



C1 クラス担任 鈴木 健治



C2 クラス担任 玉置 重俊



C3・C4 クラス担任 梅津 真



C5 クラス担任 中村 正巳



E1 クラス担任 甫喜本 司



F1 クラス担任 伊藤 一正



C6 クラス担任 森山 洋一



E2 クラス担任 穴田 有一



F2 クラス担任 諸岡 卓真



K1 クラス担任 加藤 喜久子



E3 クラス担任 五浦 哲也



F3 クラス担任 竹内 典彦



L1 クラス担任 田中 里実



E4 クラス担任 三浦 洋



F4 クラス担任 金 銀珠



L2 クラス担任 蔵本 信比古



E5 クラス担任 山本 哲二



F5 クラス担任 広瀬 玲子





30th Anniversary

1989-2018

開学30周年

北海道情報大学は
時代を見据え 情報社会をリードする人材を育成

【大学花園計画・園芸サークル「おはながかり」】

大学を花園にしようと、園芸サークル「おはながかり」が活動をしています。

昨年秋にみんなで植えたチューリップが満開になりました！＼(^o^)/
スイセンも120%くらいの咲きっぷり。

評判なかなか(*^^)v。とてもきれいです。

大学が花に包まれています。



【フィンランドでの海外研修の報告会】(5月17日(木))

平成29年8月～平成30年1月までの半年間、フィンランドオウル市のオウル応用科学大学(OAMK)へ研修留学していた安田光孝教授が、5月17日(木)に帰国報告会を開催しました。



また本報告会に合わせて、平成30年5月2日～4日の日程でOAMKで

開催された国際会議「LAB BLENDER」に参加した向田茂教授から参加報告がありました。

報告会では次の内容などが報告され、参加した約40名の教職員が熱心に聞き入っていました。

- ・フィンランドという国の概要及びオウル市と北海道との関わり歴史
- ・OAMKのスタートアップ実践プログラム「OAMK LAB」の概要と体験報告
- ・デンマーク、ノルウェー、エストニア等、フィンランドの近隣国大学への訪問報告
- ・研修留学で得た経験を基にした札幌のスタートアップ/ICT教育の現状

分析とそこから見える潜在需要(起業前講義)へのHIU参入の可能性

- ・今後のOAMKとの交流への期待と課題



【「えべつ環境広場」への出展】(6月16日(土)、17日(日))

本学システム情報学科に所属する渡部ゼミの学生たちが、江別市が主催する環境イベント「第28回えべつ環境広場」に出展しました。

えべつ環境広場は、江別市と市内の環境活動団体等が連携し、環境に関する情報提供や市民と一緒に環境について考える場として、平成3年から毎年

開催している江別市の恒例イベントです。

ここで渡部ゼミの学生たちは、自分達が大学で学んでいる宇宙情報に関連した展示や体験コーナーを4年前から毎年担当しています。今年は自分たちで考えて準備した工作「とばせ!! きみだけの宇宙ロケット」と、普段からゼミで研究対象としているドローンの操作体験を実施して、たくさんの子ど

もさんたちに楽しんでもらっていました。



【「江北ふれあい祭り」での プロジェクションマッピング】

(2月18日(日))

本学情報メディア学部 of 安田教授・向田教授・大島准教授のゼミが共同で、江別市の江北地区で開催された冬まつり「第11回江北ふれあい祭り」でプロジェクションマッピングを披露しました。

上映した映像は、江別市でのレンガ製造の歴史を組み込んだもので、来場した市民の皆さんにとっても好評を博していました。



【ダーツ部が全国優勝の快挙】

学生ダーツリーグ全日本選手権 2017にて、細谷拓海(先端経営2年)・齋藤光博(情報メディア1年)・齋藤潤一(先端経営1年)・大矢遊馬(システム情報3年)の北海道情報大学チームが、並み居る強豪を抑えて優勝を果たしました。※学年は当時

予選リーグA組を1位で通過した本学ダーツ部は準々決勝・準決勝とフルLEGの末勝ち進み、去る12月17日に開催された決勝戦では明治大学チームと対戦、序盤連勝



で先行しながらも第8LEGに追い付かれる展開で最終LEGの1101ガロンへ。

最後はリーダー細谷60のナイスアレンジからそのまま齋藤(潤)2本目に14トリプルが見事決まり、接戦を制しました。



「同窓会交流会」

初開催！



同窓会からのお知らせ

「総会・懇親会」を開催します

今年は3年に1度開催をしています
総会・懇親会の開催年です。

8月11日(土)に本学で総会・懇親会を、秋には東京で懇親会を開催します。現在、同窓会 Web サイトで8月11日に開催する総会・懇親会の参加申込を受け付けています。当日は大学主催「宇宙展」も開催しています。ぜひご参加ください。お待ちしております！

平成30年2月5日(月)に初めての試み「同窓会交流会」を開催しました。

『年に1度くらいは野幌に帰ってきてほしい!』との想いから会場は野幌に設定。月曜の夜ではありましたが、卒業生、教職員合わせて76名の方が来てくれました。

平成元年入学の1期生から昨年卒業した25期生まで幅広い年代の卒業生が遠くは東京、仙台などから集まりましたが、不思議なもので、同じ情報大

の卒業生というだけで年代の垣根を越え、大変賑やかな交流会になりました。短い時間ではありましたが、楽しんでいただけではないでしょうか。

『毎年1度、情報大卒業生が野幌に集う』この交流会を今後も毎年開催する予定です！

◆北海道情報大学大学院 経営情報学研究科 経営情報学専攻 (修士課程) 学生の学会発表について

2018年 電子情報通信学会総合大会 (於: 東京電機大学 東京千住キャンパス)

3月20日	佐藤 直己 システムデザイン 分野 修士課程1年 (現2年) ブロックチェーンを用いたPGP公開鍵の配布モデル
-------	--

日本地球惑星科学連合2018年大会 (於: 千葉県千葉市 幕張メッセ国際会議場)

5月21日	嘉賀 雄一 システムデザイン 分野 修士課程1年 気象衛星「ひまわり」を活用した海況状況監視システムの開発
-------	--



春の食生活改善運動（100円朝食）が実施されました

江別市に所在する4大学（本学、酪農学園大学、札幌学院大学、北翔大学）の共同企画「食生活改善運動 100円朝食」が5月23日から25日の3日間学生食堂で行われました。

この運動も、今回で20回目（平成

20年度から春・秋に実施）を迎えました。

朝食は、心身共に健康な学生生活を送るための基礎になります。しかし、親元から離れて生活していると、だんだん健全な食生活から離れ、朝食をと

らないことで生活リズムが乱れたり、不規則な食生活が原因で体調を崩してしまうケースも見受けられます。学生にきちんと朝食をとる習慣づけができればと100円でこの運動を実施しています。



5月23日（和食メニュー）

白身魚の唐揚げと野菜南蛮たれ【付合せ = キャベツ千切り、キュウリ、トマト】、厚揚げとインゲンの炒め物、レンコンのキンピラ、厚焼玉子、ミニたい焼き、ご飯、味噌汁、牛乳またはオレンジジュース



5月24日（洋食メニュー）

ハンバーグとエビフライ【付合せ = キャベツ千切り、キュウリ、トマト】、スパゲティナポリタン、ポテトサラダ、プリン、ご飯、スープ、牛乳またはオレンジジュース



5月25日（中華メニュー）

鶏の唐揚げ【付合せ = キャベツ千切り、キュウリ、トマト】、野菜のナムル【ほうれん草、もやし、人参】、肉団子と揚芋のチリソースかけ、杏仁プリン、ご飯、中華スープ、牛乳またはオレンジジュース

新任の先生の紹介コーナー

剣道少年が今やアニメやゲームの企画

情報メディア学部 情報メディア学科 講師 河原 大



先生の学内プロフィール

研究分野

映像表現（アニメーション・3DCG）
エンタテインメント・ゲーム情報学
教育学

担当する授業

映画基礎演習 ゲーム制作演習
アニメーション基礎演習
映像制作プロジェクト
ゲームCG演習
ゼミナール I

322 研究室

はじめまして。今年の4月から情報メディア学部の教員を務める河原大（かわはらまさる）です。「大」と書いて「まさる」と読みます。札幌生まれの札幌育ち。趣味はご当地メシで、今は名古屋メシが熱いです。

私は中学までバレーボールや剣道をするスポーツ少年寄りの人間でしたが、高校でアニメやゲームにハマり、同級生たちと素人ながら映像やゲーム制作をしてみたことで将来の目標が変わります。その後、北海道教育大学札幌校（現・岩見沢校）で美術教育や映像デザインを学び、学生の頃からCMやTV番組などの映像制作のバイトをやっていました。大学院では「個人によるアニメーション制作」をテーマに、映画「君の名は。」の監督である新海誠さんを軸にしてアニメーション作家

について研究しました。そのまま自分でも実践的な制作活動を行う結果、合資会社ピコグラフというアニメーションの企画・制作会社にて20年近く映像制作を続けてきたこととなります。また、作品制作と並行し、日本工学院北海道専門学校や札幌市立大学でデザインや映像教育の現場にも携わってきました。当時、道内では自分たちと同じようなクリエイターが少なく、もっと仲間を増やしたいという思いもあり、学生たちと一緒に「モノ作りの楽しさと難しさ」を勉強してきました。

主な作品としては、2011年に角川書店よりオリジナルアニメ「テイルエンダーズ」のDVD・Blu-rayを発売し、2012～2013年にはアイヌ文化振興・研究推進機構による「オルシペスウォプアイヌのお話アニメ」を制作しました。いずれも手描きと3DCGを組み合わせたアニメーション作品です。近年はアニメ制作のノウハウを元にアプリやゲーム開発を行い、2014～2017年にはDMM.comのブラウザゲーム「しんけん!!」を企画・制作・運営まで幅広く手掛けました。

アニメ業界はしばらく東京一極集中の状況が続いていましたが、ようやく地方にもアニメやCGのスタジオを設立するといった新しい動きが生まれつつあります。また、SNSなどで作品をいきなり外へ向けて発信することも可能になりました。さらにアニメやゲームといったジャンルの垣根も関係なくなってきました。その分、より広い知識や技術、創意工夫が求められるようになっていきます。本学にはこれらを楽しむ、制作するための環境が整っていることも他大学にはない魅力のひとつだと感じます。

今後の目標は、私の専門である「アニメーション」や「3DCG」をベースに、様々なエンターテインメントコンテンツを北海道から発信していきたいと考えています。昨年末から話題の「バーチャルYouTuber」、今年ついに元年が到来したと言われる「eスポーツ」など、これらのワードに惹かれる学生は、ぜひ322研究室まで遊びに来てください。ともに映像コンテンツの新しい道を切り開いていきましょう。どうぞ宜しくお願いいたします。



学生時代にしかできない貴重な体験を

情報メディア学部 情報メディア学科 講師 杉澤 愛美



先生の学内プロフィール

研究分野

ウェブデザイン
グラフィックデザイン
UX デザイン UI デザイン
ブランディングデザイン

担当する授業

ビジュアル構成演習、DTP
メディアデザインの基礎演習
グラフィック制作プロジェクト
デザインエレメンツ演習
ゼミナール I

133 研究室

はじめまして！杉澤愛美です。北海道情報大学および大学院の卒業生で、Web制作会社に勤めた後、今年講師として大学に戻ってまいりました。いろいろな巡りあわせとお世話になった先生方のご協力のおかげで、大好きな母校に戻ってこられたこと、とてもうれしく思っています。どうぞよろしくお願いいたします！

私が大学に入学したのは2006年。もともと小さいころからイラストを描くのが好きでした。当時それなりに周りよりも絵が上手なつもりでしたが、インターネットが家で使えるようになったころ、衝撃を受けました。同年代で私より絵が上手い人が世の中に山ほどいるということに…。そのショックで当時激しく落ち込みました



が、それと同時に、家にいながら世界中の人が描いたイラストが見られたり、自分でイラストを発信できる

インターネットってなんて凄いな！と感動もしました。この体験が、私をITに目覚めさせてくれました。

大学ではイラスト好きが講じてデザイン分野を専攻しました。在学中はデザインに関する基本的な技術を教えてもらいながら、有志の集まりでプロジェクト活動にたくさん参加させてもらいました。どのプロジェクトも学年、分野がさまざまな人たちが集まって、みんなの得意分野を結集して1つのものを作る、という形で進行していました。リーダーとしてメンバーをまとめるようなことも多く、難しくもとても成長できた期間だったと思います。

特に他分野の人たちと一緒にものづくりをしていく、という経験は、社会に出てからも役立ちました。会社で行うものづくりの環境とほぼ同じだったからです。私はプログラムに関してはそこまで詳しくないですし、自分で作ることもできません。ただ、プログラマーの方とどんな情報を共有・相談するべきかについては理解しています。そのスキルは、プロジェクトでの経験を通して身につきました。自分が得意な

分野はもちろん、それ以外の知識もすべて、他分野の人たちとも協力しやすいという点で、本学の環境はとても優れていると思います。公募やコンペ、先生からのお誘いなど、何かプロジェクト活動のチャンスが舞い込んできたら、学生の皆さんにはぜひ参加してほしいです。学生時代にしかできない、貴重な体験となると思います。

デザインの技術はいまどの分野でも必要とされています。その領域はグラフィックやWebサイトなどの制作物にとどまらず、商品・サービスの体験そのものや、スマートスピーカーなどの技術の進化に伴って登場した新しいメディアも含まれています。今後どんどん新しい分野が増えていくでしょう。そのため、デザイナーを目指している人は、何か特定の分野のデザインだけを極めるのではなく、世の中にあるいろいろなカテゴリのデザインに興味をもってほしいです。また、それらを自分たちでつくりたい！と感じてもらえるように、そのために必要な技術を、学生の皆さんに教えられたらと思っています。

思いやりをもった医療従事者に

医療情報学部 医療情報学科 特任講師 海老名 春代



先生の学内プロフィール

研究分野

診療情報管理学
診療録の記載
がん登録

担当する授業

医療秘書概論、医療事務総論
診療報酬請求事務論
医療制度論、病院管理論
診療報酬請求事務論演習
病院実習

126 研究室

本年4月より医療情報学部に着任しました海老名春代です。どうぞよろしくお願いいたします。

私は函館生まれで野幌へ来るまでは函館に住んでおり、函館市内の自治体病院に勤務しておりました。医療事務、診療情報管理と病院での仕事一筋でした。今回、ご縁があり北海道情報大学で授業を受け持つことになり、緊張と新しい発見の連続の日々を送っています。

担当する授業は、病院事務職の資格試験です。経験を交えながら病院で働く遣り甲斐や喜びを少しでも伝えたいと思っております。

私が医療事務の診療報酬請求事務能力認定試験を資格取得したのは20数年前です。現在資格取得希望されている学生の指導をしています。問題をみて病院の施設基準の多さに驚きと戸惑いを感じています。医事関連法の知識も覚えなくてはならず、介護保険法、個人情報保護法なども私の時代にありませんでした。学生と一緒に、分厚い診療報酬点数表のページをめくり、記載されている箇所を必死で

探しながら問題を解いています。

病院は資格を有したプロフェッショナルの集団です。そんな中で医療事務や診療情報管理士は難しいとはいえ認定試験です。現在病院ではチーム医療が注目されており診療情報管理士もようやく一員として隅のほうに座れる時代がきました。電子カルテの導入が進みカルテの物理的管理から情報への管理へ移行してきます。このような過度的な状況にあり、昔ながらの診療情報管理ではチーム医療の一員として病院の期待に応えることはできません。今、診療情報管理士の専門性の何が求められているか、常にアンテナを張っておく必要があります。

ある病院では、組織を変更し診療情報管理士が「臨床指標」等を整備する部門に配属されたと聞いています。

情報システ

ムの管理、診療記録の管理、臨床指標の管理、DPCのデータ分析などを統括的に実施する。今後、このような仕事求められると考えています。

本学では卒業までに「医療事務」「診療情報管理士」「医療情報技師」の資格が取得でき、やる気さえあれば多くのことが学べるチャンスがあります。経験豊富で多くの知識を持っている素晴らしい先生方が沢山いらっしゃいます。殻を破り自ら飛び込んで先生方の指導を受けて欲しいと感じています。今、この瞬間、この時間を大切に過ごして、北海道情報大学の4年間を有意義な人生の一部としてください。



Digital Practice

デジタルプラクティスに関する国際会議

システム情報学科 特任教授 古川正志

3月9日に北海道情報大学において本学の実行委員会を主催者としてデジタルプラクティスに関する国際学会を開催いたしました。本国際学会の目的は、本学を中心として東アジアおよび東南アジアの国々との教育・研究に関する相互交流および科学技術の発展と人的な交流をはかることです。

講演数は、27件（海外11件（内1件キャンセル）、国内16件）、参加者数は33名（海外19名、国内14名）となりました。海外からは主にタイ国からであり、国内からは琉球大、九州工大、香川大、広島大、金沢大、会津大、北海道科学大、北大、本学等の全国の研究者が集まりました。講演は、大学のサービスマーケットやデータベース、機械学習、ロボテックス、交通認識、組み込み応用等と多彩なデジタルプラクティスの内容となりました。各論文には2人のレビューがつき、論文の採録を行いました。各レビューでは論文の審査も行われ、その結果に基づいて Best Paper Award, The 1st Runner-up Award, The Second Runner-up Award が決定されました。

講演はeDCタワー8階で行われ、レジストレーションが9時から、各講演は2室4セッションで9時30分から16時まで熱心に行われました。



講演風景



北海道大学山本雅人教授による特別講演

昼食後には、北海道大学情報科学研究科山本雅人教授による「The Power of Neural Network for Uncertainty: from Backgammon to Curling」と題した特別講演も実施されました。同講演では冬季オリンピック英国女子カーリングチームの最後の一投の成功確率が、同教授研究室のシミュレータでは28%であったとの内容に、聴講者から驚きの声が上がっていました。

講演終了後、全員でJRタワーのレストランにバスで移動し、バンケットが開催されました。バンケットでは本学澤井学長のご挨拶、泰日工業大学 V. Ruttikorn 学部長の乾杯が行われ、その後、懇談中に論文賞の発表と楯、賞状の授賞式が行われました。ちなみに Best Paper

Award は J. Krohkaew 博士による論文「Accident Detection and Notification System using Android Smart Devices」が受賞しました。

バンケットの終了頃には第2回を2〜3年後に開催することが話題となり、無事閉会となりました。

本開催に当たっては、本学教職員の多大なご援助をいただきました。また、会議に賛同をいただいた会社から開催のための寄付金をいただきました。

関係者の方々にはお礼を申し上げます。



表彰式 (Best Paper Award)

ゼミ紹介

向原ゼミ

経営情報学部 先端経営学科

向原ゼミは、3年生が6名、4年生が3名のゼミです。3年生には、大連からの留学生の王君がいます。ゼミでは地理情報システム（GIS）の研究をしています。GISというのは、地図を使ったデータ分析のソフトウェアです。例えば、コンビニの位置を地図上に表示し、その周辺にどれくらいの人がいるか？などを計算することができます。利用するソフトウェアは、フリーウェアですし、オープンデータとあって、データも容易に入手可能なものが多いです。それにもかかわらず、GISを使いこなせる人材が日本には少ないので、向原ゼミ出身の人たちには頑張ってもらっています。

今のゼミ生は、パソコンが得意なメンバーばかりではないのですが、2ヶ



月ほどで、それなりにGISを使いこなせるようになっていきます。今は、GISを使ったことのない人に教育する方法を勉強中です。自分で使いこなすのと、他人に教えるのでは、全く勝手が違います。それを訓練するのもゼミの目標となっています。

向原ゼミはゼミ発足時から、ゼミ論集を発行しつづけていて、ゼミ論集の数は、先端経営学科の中では一番多いと思います。一昨年から、先端経営学科では、ゼミ論表彰制度ができたので

すが、一昨年は、優秀賞（2位）、昨年度は最優秀賞（1位）が向原ゼミから出ました。GPAがそれほど優秀な学生ではありませんでしたが、人一倍、時間をかけて取り組んだ成果が評価されてとてもよかったと思います。ゼミ論作成は、苦勞も多いですが、達成感も大きいと思っています。これからも、頑張ってもらっています。



奥村ゼミ

医療情報学部 医療情報学科

「食を通じた健康なコミュニティづくり」が奥村ゼミのテーマです。そのため、所属するゼミ生の共通点は、「食」というキーワードになんらかの魅力を感じている点です。「スイーツ好き」「バイト先のコンビニではスイーツは全種類を味見」「ミネラルウォーターの味の違いが気になる」「お菓子作りが好き」「糖尿病の食事が気になる」「パンが好き」「バーベキューが好き」「カフェめぐりが好き」「野菜は食べられない」など、食の話題には事欠かない学生た



ちの集まりです。

ゼミ生のほとんどは「健康食品管理士」を目指しています。学生たちは、試験合格を目指すのはもちろんですが、ゼミ活動の一環として「食と健康教室」という食育活動も精力的に行っています。奥村ゼミに加え、医療情報学科の西平先生、本間先生との合同ゼミで取り組んでいます。

「食と健康教室」では、主に食事の栄養バランスと食品の機能性成分、健康食品との上手な付き合い方を伝えています。教材には、ICチップが入った食品サンプルで瞬時に食事の栄養バランスを判定するSATシステムと、食品の機能性成分をクイズ形式で学ぶことができるタブレット教材を用いています。このタブレット教材の内容は学生

が企画・立案しています。これまでに保育園児や小学生、高校生、成人など幅広い世代の方を対象に江別市内外のイベントで活躍してきました。北海道情報大学らしく、「情報」を活かした「食を通じた健康なコミュニティづくり」への貢献にむけて、学生たちが一丸となって奮闘中です。

皆さんの地域で「食と健康教室」をお見かけの際は、ぜひお立ち寄りください！

「食と健康教室」はじめ学生の活躍の様子はこちらで見ることができます。



HIU 医療情報学部健康情報科学 FB
<https://www.facebook.com/hiu.kjk/>

柳ゼミ

経営情報学部 システム情報学科

当ゼミでは、機械学習というテーマに取り組んでいます。機械学習とは、人間が持つ学習能力をコンピュータ上で実現しようとする分野で、その研究内容は多岐にわたりますが、なかでも特に大量のデータから、意味のある規則や分類基準を取り出す研究に興味を持っています。例えば、画像から特定の物体を認識する画像認識や、ビッグデータの解析におけるデータの分類などは機械学習の技術を利用しています。また、最近では、コンピュータ将棋や囲碁の分野で、コンピュータが棋士に勝利するほど研究が進んでおりますが、大量の棋譜を用いて局面の優劣を定量的に評価する機械学習や、その一分野と考えることもできる深層学習の技術を導入したことが大きく貢献し

ています。

上述のような背景から、近年、機械学習への世間の関心は比較的高く、関係するソフトウェアやライブラリは充実してきており、データさえ用意すれば、専門的な知識がなくても機械学習を実現できる環境が整ってきています。しかし、当ゼミでは、調査、考察、発表などの能動的学習により、基礎的な理論を理解することを重視しています。



具体的には、まず、専門書の輪講を行います。また、後半では学術論文を読んでもらっています。読んだ論文の資料を作成し、全員に配布したうえで、適宜ホワイトボード等を使いながら、内容を説明してもらっています。

かなり地味で、また、高度な数学を含むため難しい内容だとは思いますが、図書館で専門書を調べたり、数式から計算例を示したり、発表者以外にも積極的に発言するなど、みな熱心に取り組んでおり、大いに期待しています。

川上・杉澤ゼミ

情報メディア学部 情報メディア学科



本ゼミは、メディアデザイン専攻の中でも、特にグラフィックデザイン、ビジュアル志向の学生さんに参加してもらっています。世の中でデザインの役割は広く、みなさんが目にするモノ全てがデザイナーの仕事を通して、世に送り出されています。目の前にあるモノを見てください。あっ！そうか！デザインされている！と、気がつくはず。

新3年生の最初の課題は「広告研究」。各自、雑誌から「これはいいデザイン！」と思った「広告」を選び、徹底的に研究

します。普段、真剣に見ることのない広告をすみずみまでじっくり分析することにより、それを作ったクライアントが何を訴えたいのかを知ることができます。

Ex. エルメスの広告。重苦しい空気感の海岸にオリーブの古木。そこに40歳くらいの渋いおやじが、太い根に立ち、木に手を添え振り返っている。ネイビーブルーのジャケットに、そぐわない細いピンストライプの白いパジャマを着ている。裸足に黒いレザーサンダル。コピーに「時」の恵み」Le Temps Devant Soi とだけ書いてある。後は何も無い。

兎に角、無理矢理でも良いから、それぞれに意味づけして、レポートを書く。

海岸？地中海だな。オリーブの古木？イタリア人やフランス人にとって、オリーブはどんな意味を持つのだろうか？パジャマにジャケット？「海」？「時」の恵み？ん？「なんじゃこりゃ？しかし、哲学のニオイがする」その解釈。イイ線いってるかも？

4年生は、卒業研究。デザインがキーワードなら方向は自由。ホントに楽しい研究が目白押し。「好きなものを研究しているだけだろう」なんて言わないで。温かく見守っています。毎年、面白い研究発表をしてくれます。今年も、乞うご期待！

※川上・杉澤ゼミは、来年度から杉澤ゼミとなりま

す。こちらにもご期待を！





体育祭

6月15日(金)、16日(土)に、第28回体育祭が開催されました。今年度は前日まで天候が不安定で、当日の運営に不安がありました。そんな中で当日は無事天候に恵まれ、屋外・屋内競技いずれも開催することができ、ジンギスカン交流会では大盛況の中、体育祭を締めくくることができました。

今年度の競技スケジュールは次の通りとなります。6月15日にはドッジボール、卓球、ソフトボール、綱引きを行い、6月16日にはバドミントン、ミニバレー、キックベース、ソフトテニスを行いました。両日合わせて270名近くの学生に出場していただきました。また、16日に学内の講堂内にてe-スポーツも急遽行いました。情報メディア学部の一部の教員の方々に企画・運営していただき、約80名近くの学生が参加するという結果となりました。いずれも大変盛況で、どの競技者も優勝を目指して輝いておりました。



今年度の体育祭の競技結果は、以下の通りです。

1日目

- ドッジボール 優勝：いしどやーず 準優勝：seaweed セブン
- 卓球 優勝：F4 準優勝：教職員チーム
- ソフトボール 優勝：そろそろ初老' z 準優勝：gbz
- 綱引き 優勝：誰が綱を引くと思う？隼田だ。 準優勝：チーム安田ゼミ

2日目

- バドミントン 優勝：2フレット 準優勝：風の谷のミツタカ
- ミニバレー 優勝：World Force 準優勝：ベッキーフレンド
- キックベース 優勝：みちみちみっちゃん 準優勝：勝ったら卒業
- ソフトテニス 優勝：西 準優勝：36単位

以上となります。入賞されたチームの皆様、おめでとうございます。また、出場されたチームの皆様、ありがとうございました。





そして、6月16日の16時30分から、ジンギスカン交流会を行いました。こちらは例年行っており、体育祭終了後に無料でジンギスカンを食べながら学生同志で交流ができるという会です。競技の出場者ではなくても参加が可能のため、多くの学生の方々にお楽しみいただきました。一般の学生、各競技の優勝・準優勝チームなど合わせて170名近くの学生に参加いただきました。並んで待っていただいた学生もあり、大変盛り上がったジンギスカン交流会を行うことができました。来年度もぜひ、ジンギスカン交流会にお越しいただければと思います。

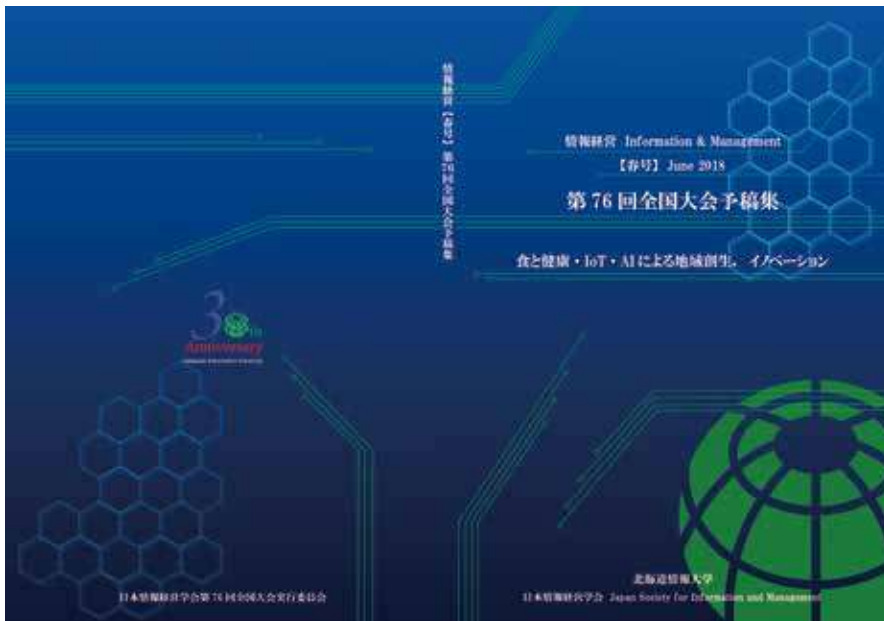
今年度も体育祭およびジンギスカン交流会を無事終えることができたのは、同窓会や教職員の皆様、競技の審判を務めてくださった各部活サークルの皆様、また学生実行委員会生やOBの皆様、加えて何よりも体育祭に参加いただいた学生の皆様のご協力あっての成果だと感じております。今年度の体育祭から学んだことを生かし、来年度の体育祭は更に盛り上がっていただけるように企画・運営していきたいと考えております。来年度も、体育祭へのたくさんのご参加、よろしくお願い申し上げます。

また、10月6日(土)、7日(日)には蒼天祭が開催されます。そこに向けて、学生実行委員会一同活動してまいりますので、一層のご支援ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

学生実行委員会
委員長 金子 麻衣



日本情報経営学会第76回全国大会



平成30年6月2日～3日に、本学において、日本情報経営学会第76回全国大会が開催されました。

最初に、学会を紹介いたします。日本情報経営学会（Japan Society for Information and Management; JSIM）は、1979年11月にオフィスオートメーション学会として設立されました。当時は先進的な概念であったオフィスオートメーションを起点とし、経営システム、企業システム、そして経営情報システム、社会情報システムなど各種の情報システム現象を理論的・実践的に研究する学際的な場として活動を行ってきました。「経営学を基軸において学際的な情報システム論的研究を掲げたわが国最初の学会」であることを自負しています。2007年に現在の名前に改称されましたが、「情報化社会の新しい大学と学問の創造」を建学の理念としている本学とは、歩む道の方向性が同じ学会といえます。全国大会は76回目ですが、北海道での開催は5回目です。これまで、札幌大学、北海道工業大学（現北海道科学大学）が開催校を務めていましたが、今回は本学がその役割を担いました。

北海道における札幌以外での開催は本学が初めてです。

これは偶然ではありません。本学にはJSIMの会員が、現役教員だけで6名所属しており、そのうち2名が理事（酒井先生と向原）を務めています。特に先端経営学科の8名のゼミ教員のうち、5名がJSIM会員です。今大会は、向原が実行委員長を務めましたが、酒井先生は、JSIMの大会委員長として、全国大会の運営を任されています。今大会でも、酒井先生が中心となって実行部隊が構成されました。JSIMにとって、北海道情報大学は存在感のある大学になっています。

予稿集のカバーをご覧ください！このデザインは、川上先生の指導のもと、情報メディア学科の畠中紗彩さんが作成してくれました。青を基調としたテクノ調のデザインです。30周年のロゴなど、本学のロゴを大きく入れまし



た。このカバーのおかげで、予稿集が更にいいものになったように思います。

本大会は、全国から109名の会員が集まり、47の研究報告がなされました。すべてのセッションで、本学医療情報学科の学生達がタイムキーパーを務めてくれました。基調講演は、本学の西平副学長先生が、食の臨床試験システム「江別モデル」の研究成果を紹介され、特別講演およびシンポジウムでは、北海道大学特任教授の山本強先生、クリプトン・フューチャー・メディア株式会社の伊藤博之社長、さっぽろ産業振興財団の酒井裕司専務理事らが、講演してくれました。3人は学民官と立場こそ違いますが、北海道の情報産業の振興に貢献してきた方々です。特に山本先生が、自作したデバイスのことを楽しそうにお話していたことが印象的でした。



その後、eDCタワー2階のカフェレストランで、懇親会が行われました。さすが北海道大会だと、料理の質の高さに皆様喜んでくれました。

本大会を無事終えることができたのは、澤井学長、西平副学長をはじめ、大学の皆様の多くの支援のたまものと思っております。実行委員長としてこの場を借りてお礼申し上げます。皆様、ありがとうございました。

日本情報経営学会
第76回全国大会実行委員長
向原 強

- サークル紹介 - バスケットボール部

こんにちは。バスケットボール部です。バスケットボール部では現在 25 名の部員が所属しています。週に 4 回 3 時間程度で、主に本学体育館で活動しています。そして、各月ごとに開催される大会に参加したり、部活内でイベントを企画し学外でも活動したりしています。



部員の中には、インターハイ経験者や大学から始めた未経験者をはじめ、兼部している部員や女子部員もあり、女子部員はマネージャー兼選手として活動しています。このように技術性別関係なく幅広く所属しています。なかには、アルバイトの関係でなかなか部活動に参加できない学生もいますが、各自のペースで取り組んでおります。

活動方針としては、各年度ごとに目標を決め、その目標に沿って練習や活動計画を組み立てています。競技を行うにあたって、選手間の技術の差はありますが、その差を埋めるよう選手間で指導し合っています。そのおかげで、初心者であっても技術が向上できており、途中であきらめて辞めることもなく意欲的に取り組んでいます。

部内の雰囲気としては、先輩後輩の関係はとても良く、メリハリがついています。コートの中では学年に関係なく全力で互いに体や声などでぶつかり合い切磋琢磨しています。ときには意見がぶつかり合うこともあります。しかしながら、それはコートの中までで、部活が終わるといつも通りの仲の良い先輩後輩の関係に戻ります。同学年で意見を言い合うこと、異なる学年同士が意見を伝えあい、考えを共有することはとても大切です。相手の考えを受け止めたくて、自分の意志、考えを主張できているということだからです。これらができる理由としては、選手一人一人がより良い部活環境を作り出そうとしているからです。このようにして、集団として、部活動としての質の向上に取り組んでいます。

学校生活、プライベートでも部員同士の交流があります。こうした、学部学年を超えての交流があることで、大学生活、勉強について情報交換をしたり、相談したりできるため、充実した大学生活を送ることができます。また、就職活動についてのアドバイスをすることもできますので、大学生活の早い時期から目標を持って努力することにもつながります。さらに、他の部活動とも交流を図る機会が多いため、人間関係が広がっていき、学校生活、私生

活を充実させることができます。

趣味の延長線上としてただ楽しむだけではなく、部活動を通して人間として成長することを常に意識しながら取り組んでいます。コミュニケーション能力の向上、協調性や団体行動で大切なことも学べます。これらは、将来、社会に出ていくために必要な能力ばかりです。なぜ、ここまで言い切れるかというと、部活動の運営は主に学生で、それぞれ、自主的に動いているからです。受け身ではなく、自分たちから考え積極的に行動を起こすことで、良い結果はもちろん悪い結果でも、その過程で経験を積むことができるため、成長につながっていきます。必ず、今後

最後に、学校生活を充実させるきっかけとして、是非とも、部活動やサークルに積極的に参加してほしいと思います。趣味や特技のさらなる向上や新たなことに挑戦してみるということに無駄なことは決してないと思います。何かに情熱を注ぎ取り組むことは一生の思い出になっていくと思います。

部長 八重原 史貴



ミステリー × 映画



左から、谷口先生、松本先生、大森先生、諸岡先生

平成 30 年 5 月 12 日（土）、紀伊國屋書店札幌本店 1 階インナーガーデンにおいて、北海道情報大学地域連携・産学連携センター主催の公開セミナー「ミステリー × 映画」が開催されました。

紀伊國屋書店で行うミステリーをテーマにしたイベントは今回で 5 回目となり、ありがたいことに、固定ファンもついてきました。会場には、幅広い世代の方々が、約 80 名も参加してくださり、満席で立ち見が出るほどでした。

セミナーでは、まず、司会の先端経営学科・藤本直樹先生が大学紹介をされた後、先端経営学科・諸岡卓真先生が登場され、「ミステリーと映画「読む」と「観る」の間」というテーマで、「観てから読むのか、読むから観るのか」という難題?! について、紐解いてくださいました。↓

続いて、「太陽がいっぱい」が「いっぱい」と題して、本学非常勤講師でミステリー評論家・作家の大森滋樹先生が講演されました。大森先生から映画「太陽がいっぱい」のスリリングな魅力を聴いた来場者のみなさんは、きっとすぐに「太陽がいっぱい」を観たくなる気持ちでいっぱいになったことと思います。

情報メディア学科の谷口文威先生は、「映画撮影を題材にしたミステリー小説」というテーマで登壇され、米澤穂信『愚者のエンドロール』や長沢樹『夏服パースペクティブ』について熱く語ってくださいました。

そして、今回のスペシャルゲスト、ミステリー作家の松本寛大先生には、『『オリエント急行殺人事件』をもっと楽しもう』というテーマで講演していただきました。『オリエント急行殺人事件』の映画の余韻やキャストの魅力など、作品の味わい方について力説してくださいました。また、アガサ・クリスティー作品が映画になったときのキャッチコピーの紹介などでは、会場が笑い声にあふ

れる場面もありました。

最後に、4 人の先生方による座談会「ミステリー × 映画」が行われました。会場の皆さまにお配りした質問用紙に基づき、「映画化してほしいと思うミステリー



小説は?」、「小説と映画で差があったと思う作品は?」などの質問に、次々と答えておられました。今年も来場者の皆さまから、時間内に答えられないほどたくさんの質問をいただき、先生方も嬉しい悲鳴をあげておられました。

また、当日、セミナーのお手伝いとして、先端経営学科 4 年生の村上悟くん、3 年生の宮家健太朗くんの 2 名が、当日の会場設営、ビラ配り、来場者数のカウントなどに進んで取り組んでくれました。

さて、来年は、どんなテーマになるのでしょうか。

(先端経営学科 松本紗矢子)



学校法人 電子開発学園 平成29年度決算の概要

平成29年度決算が理事会ならびに評議員会で承認されましたので、その概要についてお知らせいたします。

学校法人会計の計算書類は、資金繰りの状態を示す「資金収支計算書」、経営状態を示す「事業活動収支計算書」、財政状態を示す「貸借対照表」により表示し、私立学校法第47条および学校法人会計基準第4条に定められた規則に基づき作成したものです。

1. 資金収支計算書

平成29年度の収支状況を資金収支計算書により資金の流れを予算と決算で比較します。

(1) 収入の部

学生生徒等納付金収入で4百万円増加、手数料収入で2百万円増加、寄付金収入で2百万円増加、資産売却収入で1億円増加、付随事業・収益事業収入で5百万円減少、受取利息・配当金収入で6百万円減少、雑収入で3百万円増加、学費前受金収入で85百万円増加しました。収入の部合計は89億11百万円となりました。

(2) 支出の部

人件費で6百万円増加、教育研究経費及び管理経費で32百万円減少、設備関係支出で5百万円減少、資産運用支出で1億3百万円増加、その他の支出で22百万円減少しました。翌年度繰越支払資金は46億68百万円で1億19百万円増加し、支出の部合計は89億11百万円となりました。

2. 事業活動収支計算書

平成29年度の事業活動状況を事業活動収支計算書により「教育活動収支」、「教育活動外収支」、「特別収支」の3つの事業活動に区分し、それぞれの収支状況を予算と決算で比較します。

「教育活動収支」

(1) 収入の部

学生生徒等納付金、手数料、寄付金で8百万円増加、付随事業収入で5百万円減少となり、収入合計は37億47百万円で、2百万円増加と

なりました。

(2) 支出の部

人件費で7百万円増加、教育研究経費及び管理経費で35百万円減少となり、支出合計は37億38百万円で、28百万円減少となりました。「教育活動収支差額」は9百万円となり、31百万円増加となりました。

「教育活動外収支」

(1) 収入は受取利息・配当金が54百万円で6百万円減少となりました。

(2) 支出は借入金等利息が11百万円で、「教育活動外収支差額」は43百万円で、6百万円減少となりました。「経常収支差額」は52百万円となり、25百万円増加となりました。

「特別収支」

(1) 収入は9百万円で3百万円増加となりました。

(2) 支出は20百万円で「特別収支差額」は△11百万円となり、3百万円増加となりました。

「基本金組入前当年度収支差額」は41百万円で27百万円増加となりました。

「基本金組入額合計」は4億4百万円で8百万円増加となりました。

「当年度収支差額」は△3億62百万円で19百万円増加となりました。

「翌年度繰越収支差額」は7億36百万円で20百万円増加となりました。

3. 貸借対照表

平成29年度の財政状態を貸借対照表により本年度末と前年度末と比較します。

(1) 「資産の部」

合計で153億14百万円と前年度末対比で88百万円増加しました。

「固定資産」は主に建物が校舎棟外壁・基礎医学実習室工事等で1億18百万円増加、減価償却額で1億68百万円減少しました。

構築物がバス回転場設置で3百万円増加、減価償却額で4百万円減少しました。

教育研究用機器備品が実習室パ

ソコン・臨床工学実習室の備品等購入で2億2百万円増加、減価償却額で98百万円減少しました。

管理用機器備品が管理用パソコン等購入で6百万円増加、減価償却額で4百万円減少しました。

図書が書籍購入で5百万円増加、退職給与引当特定資産が32百万円増加しました。

ソフトウェアがキャンパスシステム更新等で2億49百万円増加、減価償却額で18百万円減少しました。

これにより固定資産合計104億84百万円で3億15百万円増加となりました。

「流動資産」は48億30百万円で2億27百万円減少し、主に現金預金が2億27百万円減少となりました。

(2) 「負債の部」

合計で29億63百万円と前年度末対比で47百万円増加しました。

「固定負債」はeDCタワー等の長期借入金が92百万円減少、退職給与引当金が36百万円増加、長期未払金が92百万円増加し、合計37百万円増加となりました。

「流動負債」は未払金が1億22百万円増加、学費前受金が1億10百万円減少、預り金が3百万円減少し、合計10百万円増加となりました。

(3) 「純資産の部」

合計で123億51百万円と前年度末対比で41百万円増加しました。

「基本金」は116億15百万円で固定資産のうち継続的に保持すると判断されるものの額を示す第1号基本金への組入額が4億4百万円増加しました。

今日、私学を取り巻く環境は、学齢人口の減少等により年々厳しくなっています。本学園は、健全な財務体質を維持するために教職員が一致結束して、特色ある教育活動や教育サービスの見直しにより定員確保に努め、また経費節減に取り組み、安定した学校経営を推進する所存です。

1. 資金収支計算書 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

収入の部

(単位:円)

支出の部

(単位:円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	3,107,419,000	3,111,059,785	△ 3,640,785
手数料収入	34,815,000	36,793,062	△ 1,978,062
寄付金収入	5,089,000	7,170,000	△ 2,081,000
補助金収入	260,038,000	260,731,032	△ 693,032
国庫補助金収入	237,249,000	237,741,000	△ 492,000
地方公共団体補助金収入	22,789,000	22,990,032	△ 201,032
資産売却収入	200,180,000	300,251,534	△ 100,071,534
付随事業・収益事業収入	282,108,000	277,268,792	4,839,208
受取利息・配当金収入	60,328,000	54,375,271	5,952,729
雑収入	54,203,000	57,060,784	△ 2,857,784
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,250,902,000	1,335,912,615	△ 85,010,615
その他の収入	141,633,000	142,048,431	△ 415,431
資金収入調整勘定	△ 1,520,243,000	△ 1,567,169,786	46,926,786
前年度繰越支払資金	4,895,170,000	4,895,169,116	884
収入の部合計	8,771,642,000	8,910,670,636	△ 139,028,636

科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,818,967,000	1,824,913,324	△ 5,946,324
教育研究経費支出	1,030,420,000	1,011,038,820	19,381,180
管理経費支出	574,403,000	561,472,976	12,930,024
借入金等利息支出	10,989,000	10,987,926	1,074
借入金等返済支出	91,661,000	91,660,000	1,000
施設関係支出	120,090,000	120,342,928	△ 252,928
設備関係支出	466,735,000	461,816,180	4,918,820
資産運用支出	269,687,000	373,061,105	△ 103,374,105
その他の支出	474,966,000	452,588,050	22,377,950
資金支出調整勘定	△ 635,290,000	△ 665,189,224	29,899,224
翌年度繰越支払資金	4,549,014,000	4,667,978,551	△ 118,964,551
支出の部合計	8,771,642,000	8,910,670,636	△ 139,028,636

活動区分資金収支計算書 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

(単位:円)

	科目		金額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	3,111,059,785
		手数料収入	36,793,062
		特別寄付金収入	5,235,500
		一般寄付金収入	1,730,000
		経常費等補助金収入	256,726,032
		付随事業収入	277,268,792
		雑収入	56,919,644
		教育活動資金収入計	3,745,732,815
	支出	人件費支出	1,824,913,324
		教育研究経費支出	1,011,038,820
管理経費支出		559,371,442	
教育活動資金支出計		3,395,323,586	
差引		350,409,229	
調整勘定等		△ 153,698,809	
教育活動資金収支差額		196,710,420	
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備寄付金収入	204,500
		施設設備補助金収入	4,005,000
		施設設備売却収入	251,534
		施設整備等活動資金収入計	4,461,034
	支出	施設関係支出	120,342,928
		設備関係支出	461,816,180
		施設整備等活動資金支出計	582,159,108
	差引		△ 577,698,074
	調整勘定等		232,169,570
	施設整備等活動資金収支差額		△ 345,528,504
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)		△ 148,818,084	

	科目		金額
その他の活動による資金収支	収入	有価証券売却収入	300,000,000
		退職給与引当特定資産取崩収入	41,165,750
		その他の収入	19,339,998
		小計	360,505,748
	支出	受取利息・配当金収入	54,375,271
		過年度修正収入	141,140
		その他の活動資金収入計	415,022,159
		借入金等返済支出	91,660,000
		有価証券購入支出	300,000,000
		退職給与引当特定資産繰入支出	73,061,105
その他の支出	13,966,002		
小計	478,687,107		
借入金等利息支出	10,987,926		
過年度修正支出	2,101,534		
その他の活動資金支出計	491,776,567		
差引		△ 76,754,408	
調整勘定等		△ 1,618,073	
その他の活動資金収支差額		△ 78,372,481	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)		△ 227,190,565	
前年度繰越支払資金		4,895,169,116	
翌年度繰越支払資金		4,667,978,551	

2. 事業活動収支計算書 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科目		予算	決算	差異	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	3,107,419,000	3,111,059,785	△ 3,640,785
		手数料	34,815,000	36,793,062	△ 1,978,062
		寄付金	4,885,000	6,965,500	△ 2,080,500
		経常費等補助金	256,033,000	256,726,032	△ 693,032
		国庫補助金	233,244,000	233,736,000	△ 492,000
		地方公共団体補助金	22,789,000	22,990,032	△ 201,032
		付随事業収入	282,108,000	277,268,792	4,839,208
		雑収入	58,870,000	57,721,564	1,148,436
		教育活動収入計	3,744,130,000	3,746,534,735	△ 2,404,735
		事業活動支出の部	事業活動支出の部	人件費	1,838,164,000
教育研究経費	1,286,744,000			1,265,089,005	21,654,995
管理経費	612,507,000			598,671,140	13,835,860
徴収不能額等	28,663,000			29,100,330	△ 437,330
教育活動支出計	3,766,078,000			3,737,662,130	28,415,870
教育活動収支差額	△ 21,948,000	8,872,605	△ 30,820,605		

(単位：円)

科目		予算	決算	差異	
教育活動外収支	事業収入の部	受取利息・配当金	60,328,000	54,375,271	5,952,729
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	60,328,000	54,375,271	5,952,729
	事業支出の部	借入金等利息	10,989,000	10,987,926	1,074
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	10,989,000	10,987,926	1,074
教育活動外収支差額	49,339,000	43,387,345	5,951,655		
経常収支差額	27,391,000	52,259,950	△ 24,868,950		
特別収支	事業収入の部	資産売却差額	75,000	2,147,486	△ 2,072,486
		その他の特別収入	6,169,000	6,876,046	△ 707,046
		特別収入計	6,244,000	9,023,532	△ 2,779,532
	事業支出の部	資産処分差額	2,508,000	676,031	1,831,969
		その他の特別支出	17,230,000	19,271,828	△ 2,041,828
		特別支出計	19,738,000	19,947,859	△ 209,859
	特別収支差額	△ 13,494,000	△ 10,924,327	△ 2,569,673	
	基本金組入前当年度収支差額	13,897,000	41,335,623	△ 27,438,623	
	基本金組入額合計	△ 395,320,000	△ 403,500,020	8,180,020	
	当年度収支差額	△ 381,423,000	△ 362,164,397	△ 19,258,603	
前年度繰越収支差額	1,098,542,000	1,098,541,815	185		
翌年度繰越収支差額	717,119,000	736,377,418	△ 19,258,418		

(参考)

(単位：円)

事業活動収入計	3,810,702,000	3,809,933,538	768,462
事業活動支出計	3,796,805,000	3,768,597,915	28,207,085

3. 貸借対照表 平成30年3月31日

資産の部

(単位：円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	10,484,143,750	10,169,067,017	315,076,733
有形固定資産	6,931,653,782	6,872,298,688	59,355,094
土地	1,725,516,149	1,725,516,149	0
建物	4,294,582,522	4,344,754,324	△ 50,171,802
構築物	53,595,290	55,316,372	△ 1,721,082
教育研究用機器備品	367,491,198	263,825,206	103,665,992
管理用機器備品	34,611,500	32,994,644	1,616,856
図書	450,734,164	445,685,606	5,048,558
車両	5,122,959	4,206,387	916,572
特定資産	237,049,765	205,154,410	31,895,355
退職給与引当特定資産	237,049,765	205,154,410	31,895,355
その他の固定資産	3,315,440,203	3,091,613,919	223,826,284
ソフトウェア	259,813,514	28,770,580	231,042,934
有価証券	2,500,000,000	2,498,000,000	2,000,000
長期預金	500,000,000	500,000,000	0
その他の固定資産	55,626,689	64,843,339	△ 9,216,650
流動資産	4,830,215,159	5,057,434,231	△ 227,219,072
現金預金	4,667,978,551	4,895,169,116	△ 227,190,565
未収入金	101,191,303	88,157,847	13,033,456
その他の流動資産	61,045,305	74,107,268	△ 13,061,963
資産の部合計	15,314,358,909	15,226,501,248	87,857,661

負債の部

(単位：円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	958,255,265	921,308,462	36,946,803
長期借入金	545,760,000	637,420,000	△ 91,660,000
退職給与引当金	272,749,464	236,492,759	36,256,705
長期未払金	139,745,801	47,395,703	92,350,098
流動負債	2,004,632,007	1,995,056,772	9,575,235
短期借入金	91,660,000	91,660,000	0
未払金	532,984,536	411,114,572	121,869,964
前受金	1,335,912,615	1,445,659,317	△ 109,746,702
預り金	44,074,856	46,622,883	△ 2,548,027
負債の部合計	2,962,887,272	2,916,365,234	46,522,038

純資産の部

(単位：円)

科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	11,615,094,219	11,211,594,199	403,500,020
第1号基本金	11,312,094,219	10,908,594,199	403,500,020
第4号基本金	303,000,000	303,000,000	0
繰越収支差額	736,377,418	1,098,541,815	△ 362,164,397
翌年度繰越収支差額	736,377,418	1,098,541,815	△ 362,164,397
純資産の部合計	12,351,471,637	12,310,136,014	41,335,623
負債及び純資産の部合計	15,314,358,909	15,226,501,248	87,857,661

大学主要行事など <2月1日～6月30日>

◆◆ 教職員の動向 ◆◆

3月31日付

《教員》

退職（定年） 教授 長井 敏行
退職（自己都合） 准教授 栗山 敏
准教授 後藤 雄太

《大学職員》

退職 理事・事務局長 近藤 始
兼務を解く 学生サポートセンター事務室長
安倍 隆（副事務局長）

《法人職員》

退職（定年） 経理課 課長代理 東 英俊

4月1日付

《教員》

就任 医療情報学部長 佐藤 裕二
情報メディア学部長 松井 伸也
大学院研究科長 渡部 重十
図書館長 岸田 一
教務部長 山北 隆典
就職部長 小走 安則

配置換

教授 浜瀬 久志
（医療情報学科 → 先端経営学科）
准教授 五浦 哲也
（情報メディア学科 → システム情報学科）

昇任

システム情報学科 チャールズ・マクラークティ
（准教授 → 教授）
情報メディア学科 甫喜本 司
（准教授 → 教授）
情報メディア学科 福光 正幸
（講師 → 准教授）

採用（特任）

教授 長井 敏行（先端経営学科）
講師 海老名 春代（医療情報学科）

採用（新任）

講師 河原 大（情報メディア学科）
講師 杉澤 愛美（情報メディア学科）

《大学職員》

就任 理事・事務局長 安倍 隆
（副事務局長）
事務局長 木田 洋
（通信教育部事務部長）
学生サポートセンター事務室長 橋本 充浩
（学生サポートセンター事務室学生課長）
学生サポートセンター事務室就職課長 岩本 和生
（教務課長代理）
学生サポートセンター事務室学生課長 松尾 俊樹
（学生サポートセンター事務室学生課長補佐）
アドミッションセンター入試課長 富樫 恵一
（アドミッションセンター入試課長代理）
アドミッションセンター広報室課長 檜物 敏昭
（アドミッションセンター広報室課長代理）
教務課長 瀧澤 浩基
（学生サポートセンター事務室就職課長代理）
通信教育部事務部長 笠羽 弘城
（通信教育部事務部長代理）
兼務 通信教育部事務部長 木田 洋
（事務局長次長）
教務課 小田島 敬太
（学生サポートセンター事務室国際交流・留学生支援課）

採用 会計課 課長補佐 東 英俊
（法人本部経理課 課長代理）

《法人職員》

就任 総務課 課長 河村 まき
（法人本部総務課 課長代理）
財務課 課長 杉下 功
（法人本部財務課 課長代理）
経理課 課長 石田 英弘
（法人本部経理課 課長補佐）

◆◆ 主要行事 ◆◆

◇大学◇

2月 2日（金）～3日（土） 一般1期入学試験
5日（月） OB・OG 交流会、同窓会交流会
11日（日） 入学説明会、大学進学資金説明会
19日（月） 大学説明会
22日（木）～23日（金） 入学前教育プログラム
23日（金） 保護者の会役員会
26日（月） 編入学試験（3次募集）、特別 AO 入学試験（C日程）
3月 2日（金） FD・SD フォーラム
6日（火）～7日（水） 研究倫理教育
12日（月） 学生相談室活動報告会
13日（火） 一般2期入学試験
16日（金） 学位記授与式、卒業祝賀会
19日（月） 企業・病院説明会
20日（火） 北海道美深高等学校との高大連携調印式
23日（金） 特別 AO 入学試験（D日程）
25日（日） オープンキャンパス
4月 5日（木） 入学式
10日（火）～11日（水） 新入生宿泊研修
12日（木） 前期開講
29日（日） オープンキャンパス・保護者のための大学資金説明会
5月 23日（水）～25日（金） 江別4大学共同企画春の食生活改善運動
25日（金） 保護者の会役員会
27日（日） オープンキャンパス・保護者のための大学進学資金説明会
6月 8日（金） 学内共同研究成果報告会
11日（月） 前期後半授業開始
15日（金）～16日（土） 体育祭
17日（日） オープンキャンパス
22日（金）～23日（土） 南京大学外国語学院留学準備クラス
学部・学科・専攻入学試験、南京大
学推薦者編入学試験
24日（日） オープンキャンパス

◇大学院◇

2月 9日（金） 大学院入学者選抜試験（2次募集）
27日（火） 研究科委員会
3月 30日（金） 研究科委員会
4月 10日（火） 学位論文等 研究計画発表会
6月 2日（土） 大学院推薦入学試験

◇法人本部◇

2月 15日（木） 理事会・評議員会
3月 5日（月）～7日（水） 有限責任監査法人トーマツ「平成29年度期中監査」
22日（木） 理事会・評議員会
5月 10日（木） 理事会・評議員会
14日（月）～18日（金） 有限責任監査法人トーマツ「平成29年度期末監査」

北海道情報大学 平成30年度(2018年度)学年暦

8月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			16	16	15	
5	6	7	8	9	10	11
	金16	合同試験	合同試験			山の日
12	13	14	15	16	17	18
				夏集中	夏集中	夏集中
19	20	21	22	23	24	25
	夏集中	夏集中	夏集中	夏集中	夏集中	夏集中
26	27	28	29	30	31	
	追試験期間	追試験期間	追試験期間	追試験期間	追試験期間	

6日 金曜授業日
7日、8日 合同試験
9日～夏季休業期間
16日～25日 夏期集中授業期間

27日～ 追再試験期間

12月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
	11	11	11	11	11	
9	10	11	12	13	14	15
	12	12	12	12	12	
16	17	18	19	20	21	22
	13	13	13	13	13	
23	24	25	26	27	28	29
	天皇誕生日	振替休日				
30	31					

25日～冬季休業期間

9月

日	月	火	水	木	金	土
						1
						追試験期間
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
	敬老の日			STP	①	
23	24	25	26	27	28	29
	秋分の日	月①	①	①	②	
30						

～1日 追再試験期間

～19日 夏季休業期間
20日 後期STP
21日 後期 授業開始
24日 通常授業日

1月(平成31(2019)年)

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
			元日			
6	7	8	9	10	11	12
	14	14	14	14	14	
13	14	15	16	17	18	19
	成人の日	11/23の振替	15	15	15	センター
20	21	22	23	24	25	26
	センター	15	15	16	16	
27	28	29	30	31		
	16	16	合同試験	合同試験		

～6日 冬季休業期間
7日 授業開始

15日 11/23 振替休日

30日、31日 合同試験日

10月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	2	2	2	2	9/24の振替	学祭
7	8	9	10	11	12	13
	学祭	体育の日	3	3	3	月3
14	15	16	17	18	19	20
	4	4	4	4	4	保護懇
21	22	23	24	25	26	27
	5	5	5	5	5	
28	29	30	31			
	6	6	6			

5日 9/24 振替休日

6日～7日 着天祭
13日 月曜授業日
20日 保護者と教員の懇談会

2月(平成31(2019)年)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
						一般1期
3	4	5	6	7	8	9
	一般1期	冬集中	冬集中	冬集中	冬集中	冬集中
10	11	12	13	14	15	16
	建国記念日	追試験期間	追試験期間	追試験期間	追試験期間	追試験期間
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		
	編入試験					

1日～春季休業期間
2・3日 一般1期入試
4日～9日 冬期集中授業期間

12日～16日 後期追再試験期間

11月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				6	6	文化の日
4	5	6	7	8	9	10
	7	7	7	7	7	
11	12	13	14	15	16	17
	8	8	8	8	8	合同試験
18	19	20	21	22	23	24
	9	9	9	9	9	金9
25	26	27	28	29	30	
	10	10	10	10	10	

17日 合同試験日
17日 後期前半授業終了
19日 後期後半授業開始
23日 通常授業日

3月(平成31(2019)年)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
						一般2期
10	11	12	13	14	15	16
				学位記		
17	18	19	20	21	22	23
				春分の日		
24	25	26	27	28	29	30
31						

14日 学位記授与式

前期 前半授業期間 前期 後半授業期間 集中授業期間 他曜日授業 スタートアップ 学生イベント
後期 前半授業期間 後期 後半授業期間

NANAKAMADO

Editor's Note



情報メディア学科 3年
遠藤 めぐみ

最初は澤井学長とお話するというこ
で、緊張していましたが、気さくな方
でとても楽しかったです。

情報メディア学科 3年
中島 菜津美

一部を担当させていただき、とても勉
強になりました。良い体験ができたと
思います。

情報メディア学科 3年
山口 稜太

初めてななかまどの作成をしました！
ページ物のレイアウト自体初めてだっ
たのでとても良い経験になりました。

情報メディア学科 3年
畠中 紗彩

帰りに街中を通るとスイーツの誘惑に
負けそうになります。今のところまだ
勝ってます。

情報メディア学科 3年
小林 理玖

今回は原稿や写真が用意されていてレ
イアウトだけだったので、難しくなく
てよかったです。

情報メディア学科 3年
田中 海夕

川上・杉澤ゼミ 3年の田中海夕です。
入学式を担当しました。参加できて良
かったです。

情報メディア学科 4年
丹野 葵

ほくろが多すぎてほくろが本体になり
つつあるロシアのハーフです。助けて
ください。

情報メディア学科 4年
草嶋 真穂

インスタで人気者になってちやほやさ
れる柴犬に生まれたかったランクルス
推しです。

情報メディア学科 4年
吉田 有希菜

頑張りました(^^)

情報メディア学科 4年
橋本 優花

日村のハーフです。突然アイドルにハ
マりました。オタクも行き着くところ
まで来たな、と思います。



check!
Facebook



ななかまど 編集後記

編集隊募集中！

現在もななかまどと一緒に編集してくれる方を募集しております。
学年、学科など何も問いません。

興味ある方はぜひ一緒にななかまどを作りましょう！

興味がある方は、hiu.nanakamado@gmail.com にメールを送るか、
情報メディア学部・川上研究室（228）までお越しください。